

所属： 工学部電気電子工学科3年

派遣先国名： ベトナム

プログラム名： イオン1%クラブ アジア学生環境フォーラム

事前研修： 2010年10月29～30日

プログラム期間： 2010年11月22日～28日

#### ■プログラムの概要

事前研修では、本番で行うディスカッションの予行練習を行いました。また、CW ニコルさんの森林保護に関する講演を聞きました。

ベトナムに行ってから、市内観光、ツーズー病院訪問、マングローブの森見学、植樹、フエ観光など、ディスカッション以外にも様々な体験をしました。

#### ■ディスカッションのテーマ

農業、林業が主要産業の街の森を切り開いてレジャー施設を建てるという計画があるが、住民が生物多様性の保護という点から反対している。そこをいかにして住民を納得させ、より発展した街を作り上げていくかを話し合う。

#### ■最終プレゼンまでのチームの状況

僕のチームは、日本人3人、タイ人3人、ベトナム人4人の計10人で構成されていました。この中で、事業者チーム、住民チーム、政府チームと別れていて、最初の1時間程はそれぞれのチームごとに議論をして意見をまとめ、そのあとに10人まとまって議論をしました。はじめのうちは全員で意見を出し合っていたのですが、時間が無くなるにつれ、英語力の高い特定の3人しか発言しなくなってしまい、正直僕は何も貢献できなかった気がしました。英語力だけでなく、話の内容についても大きく負けてしまいました。また、ベトナム人の英語の癖がとても強く、日本人、タイ人全員理解できないことも多々あり、苦労したこともたくさんありました。翌日のプレゼンには全員参加し、一人一人順番に発表しました。不安もありましたが、皆で楽しみながら発表ができたと思います。

このディスカッションや、ディスカッションの合間の休憩時間などを通じて、チームのメンバーとはとても仲良くなることができました。

#### ■ディスカッション以外の活動

特に印象に残った場所はツーズー病院です。病院内を見学する前に職員の方からベトナム戦争についての話を聞き、そのあとに今も後遺症と戦っている子供たちと接しました。何も罪のない子供たちが、なぜこのような苦しみを受けなくてはならないのだろうかと考えると、心が痛かったです。自分がこの子供たちのために何かしてあげられることはないだろうか、とても考えさせられました。

また、フエで行った小学校訪問では、少しだけですが、その小学生と一緒に遊ぶ時間がありました。言葉も全く通じない中、幸せそうな子供たちの笑顔がとても印象的でした。

#### ■感想

僕がこのプログラムに参加していちばんよかったと思ったことは、日本にも、タイにも、ベトナムにも、とてもいい友達が多くできたことです。みな意識が高く、話していて刺激をたくさん受けさせてもらいました。たった1週間のプログラムでしたが、別れの時はとても寂しく、このメンバーと出会えてよかったと心から思いました。もしまたこのメンバーでディスカッションをする機会があれば、今度は僕がみんなを引っ張れるようになりたいです。最高に楽しく、最高に充実した一週間でした。